

チャイルド&ジュニアシート

エアグルーヴ

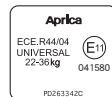
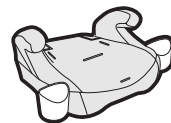
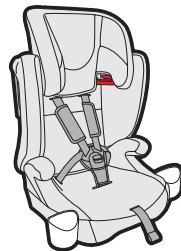
AirGroove
エアグルーヴ

取扱説明書／保証書

体重**9kgから36kgまで**のお子さま用です。
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

ECE-R44/04 (ヨーロッパ統一規則) 適合
汎用型グループI、グループII、グループIII、9kgから36kgまで。



ご使用前に

チャイルドシートモード

ジュニアシートモード

ブースターシートモード

その他

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

〈お願い〉

- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、おしからずご了承ください。

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
本書の見かた	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
チャイルドシートを取り付ける座席について	11
シートベルトの条件	13
ご使用上の注意	15
日常の点検	19
組み立て方法	20
ドリンクホルダーの使いかた	22
ヘッドサポートの高さ調節	23

チャイルドシートモード

肩ハーネスの調節	24
取り付け準備	29
車への取り付けかた	31
取り付け後の確認	33
お子さまの乗せかた	34
使用時の確認	37
お子さまの降ろしかた	38

ジュニアシートモード

肩ハーネスの取り外しかた	39
車への取り付けかた	44
お子さまの乗せかた	45
使用時の確認	47

ブースターシートモード

背もたれの取り外しかた	48
肩ベルト調節ストラップの使いかた	49
車への取り付けかた	51
お子さまの乗せかた	52
使用時の確認	53
チャイルドシートモードへの戻しかた	54

お手入れ

シートカバーの外しかた	58
お手入れ／保管・廃棄のしかた	60
製品仕様	60
困ったときに	61
保証について	63
アフターサービスについての連絡先	64
MEMO	65
保証書	66

チャイルドシートについて




- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・取扱説明書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

＜中古品のご使用について＞

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。


本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。


表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発進段階にあった姿勢をとってあげることも大切ですよ。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取扱いで知っておくと便利な内容です。

・必ずお読みください。

ご使用前に

P2~P10

車の座席、シートベルトを確認

P11~P14

ご使用上の注意

P15~P18

日常の点検と確認

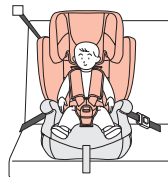
P19

組み立て方法

P20~P23

グループ I <チャイルドシートモード> 肩ハーネス使用

お子さまの条件
体重：9kgから18kgまで



P24~P38

- (1) 肩ハーネスの調節
- (2) 車への取り付けかた
- (3) 取り付け後の確認
- (4) お子さまの乗せかた
- (5) **使用時の確認**
- (6) お子さまの降ろしかた

グループ II <ジュニアシートモード> 背もたれ使用

お子さまの条件
体重：15kgから25kgまで

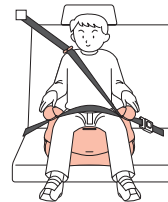


P39~P47

- (1) 肩ハーネスの取り外しかた
- (2) 車への取り付けかた
- (3) お子さまの乗せかた
- (4) **使用時の確認**

グループ III <ブースターシートモード> 座面のみ使用

お子さまの条件
体重：22kgから36kgまで



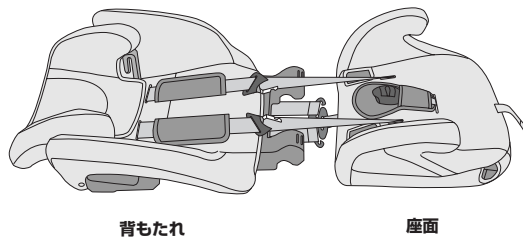
P48~P53

- (1) 背もたれの取り外しかた
- (2) 肩ベルト調節ストラップの
使いかた
- (3) 車への取り付けかた
- (4) お子さまの乗せかた
- (5) **使用時の確認**

各部のなまえ

〈梱包内容〉

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



〈付属品〉



ドリンクホルダー (2個)
(P22参照)



肩ベルト調節ストラップ
(P49参照)

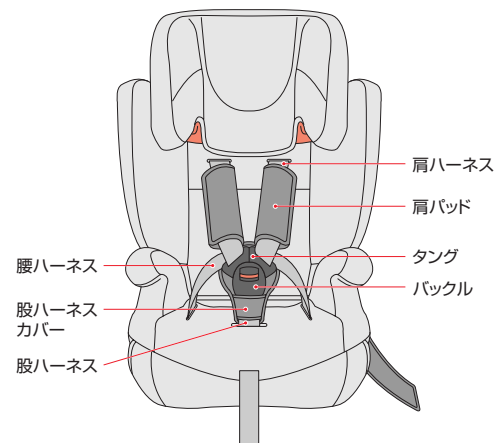


お客様
登録カード

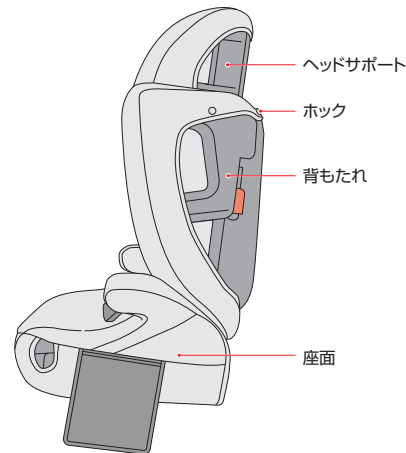


取扱説明書
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)

〈本体正面〉



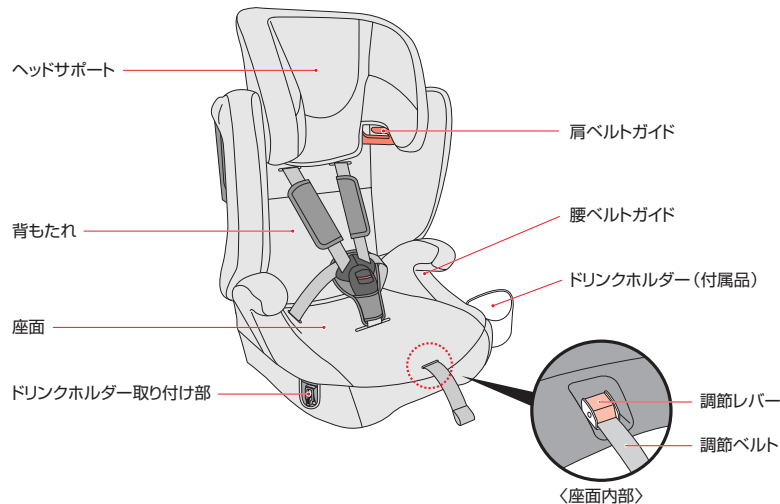
〈本体側面〉



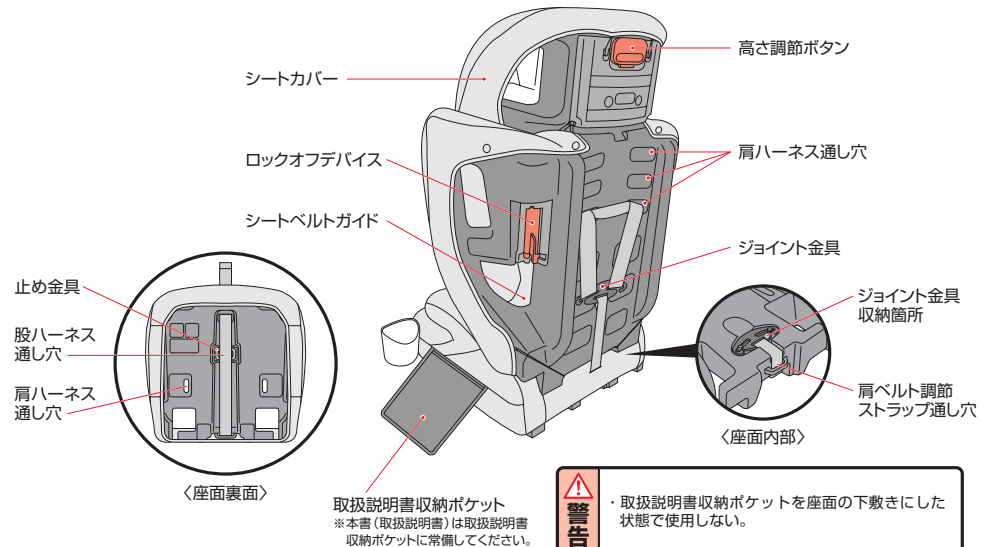
〈重要〉 ※お客様登録カードは、弊社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報をお知らせするためのご連絡先の登録に必要となります。お買い上げ日より1カ月以内に同封の「お客様登録カード」をご返送いただくか、弊社ホームページ (<http://www.Aprica.jp/>) からご登録をお願いいたします。

各部のなまえ

〈本体正面〉



〈本体背面〉



お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
条件を満たさないお子さまに使用した場合、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

体重9kgから18kgまで

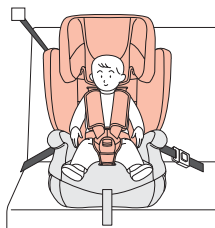
参考年齢：12カ月頃から4歳頃
参考身長：75～105cm



〈チャイルドシートモード〉

〈肩ハーネスを使用〉

- ・シートベルトで座席に固定し、肩ハーネスを使用する。



体重15kgから25kgまで



〈ジュニアシートモード〉

〈背もたれを使用〉

- ・肩ハーネスを外して、シートベルトでお子さまをホールドする。

参考年齢：3歳頃から7歳頃
参考身長：95～120cm



体重22kgから36kgまで

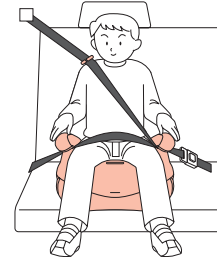
参考年齢：7歳頃から11歳頃
参考身長：120～145cm



〈ブースターシートモード〉

〈座面のみを使用〉

- ・肩ハーネス、背もたれを外して、シートベルトでお子さまをホールドする。
- ・肩ベルト調節ストラップ使用。



- ・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



危険

- ・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

チャイルドシートを取り付ける座席について

○本装置は「汎用」幼児拘束装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。

○車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられると考えられます。

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

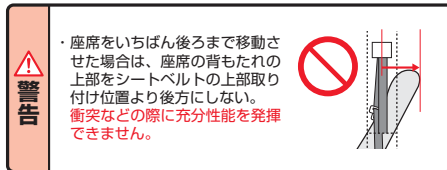
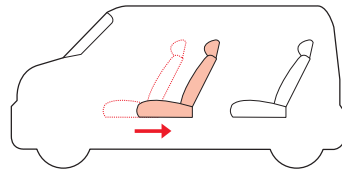
・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。フロントエアバッグが作動した際に、お子さまが強い衝撃を受けるおそれがあります。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

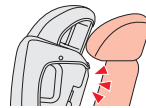
・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

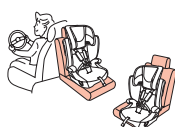
・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。



〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備



・車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとチャイルドシートが接触しない座席。



・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。

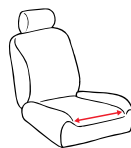


・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。

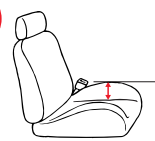
〈取り付けできない座席〉・座席の形状



・極端に奥行きが短い座席。
(補助席や幼児専用座席)



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



シートベルトの条件

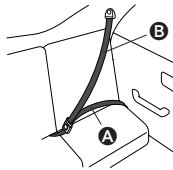
〈シートベルトの条件〉

- ・本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
- ・シートベルトの種類については、お車の取扱説明書をご確認ください。

シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点	
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

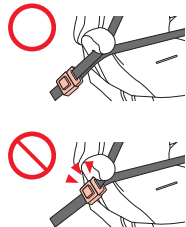
〈ECE基準について〉

- ・チャイルドシートは、助手席または後部座席に、3点式シートベルトの腰Aおよび肩B部分を使用して、必ず前向きに取り付けること。
- ・ECE規則No.16または他同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した記載車種に限り使用できます。



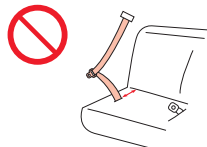
〈シートベルトバックルの正しい位置〉

- ・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・右図のようにバックルがシートをまたぐ場合は、本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。



〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。
- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)



〈以下の3点式シートベルトでは使用しないでください〉

- ・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。

〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

- ・2点式シートベルトの座席。
- ・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
- ・パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)
- ・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



ご使用上の注意



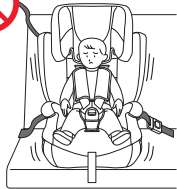
危険

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

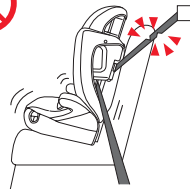
・体重9kg未満及び36kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

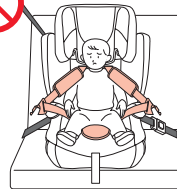


・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示の説明以外の方法で取り付けない。

ご使用上の注意



警告

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
(例：片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
- ・お子さまの耳の上端部がヘッドサポートの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・極端な厚着や、防寒具の上からシートベルトを装着した場合、シートベルトのゆるみの原因となることがあります。寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。
- ・お子さまを車のシートベルトで遊ばせない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。
また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。

・本製品の取り付けや取扱いに関する不明点がありましたら、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。（P64参照）



注意

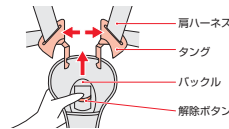
誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せず、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用すると可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

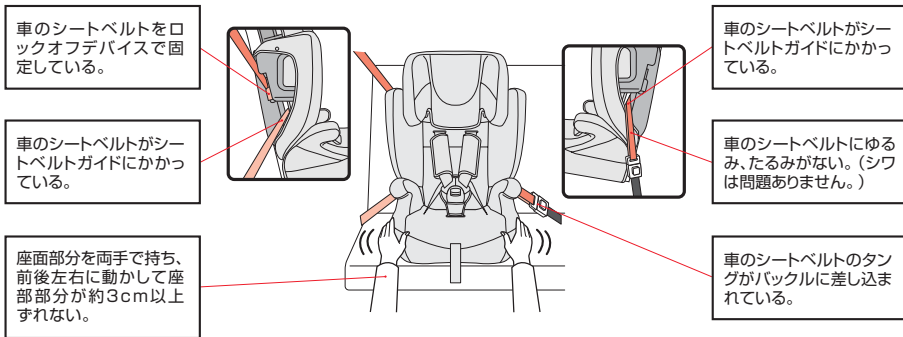


日常の点検

・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

・チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前に各項目を点検してください。

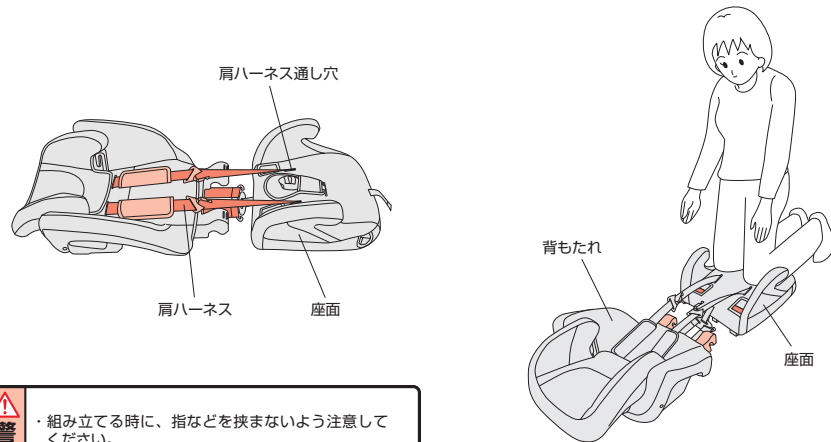


・お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。

組み立て方法

〈背もたれ・座面の組み立て〉・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ①座面の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスが確実に取り付けられていることを確認する。
- ②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。



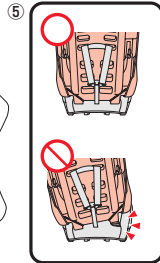
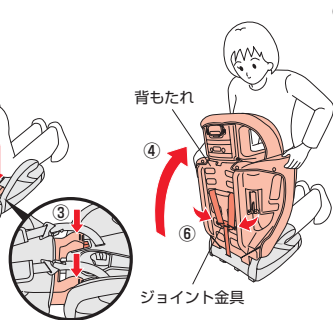
・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。

組み立て方法

- ③ 背もたれを水平に持ち上げ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- ④ 背もたれを起こす。



- ⑤ 背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。
- ⑥ 肩ハーネスがジョイント金具に取り付けられていることを確認する。



背もたれ部分が斜めにならないよう注意してください。



- ・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。
- ・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意してください。

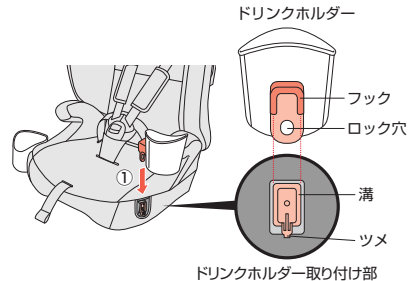


シートカバーを挟み込まないよう注意してください。

ドリンクホルダーの使いかた

〈ドリンクホルダーの取り付け〉

- ① 座面のドリンクホルダー取り付け部の溝にドリンクホルダーのフックを上から差し込み、ツメにロック穴が入るまで下げる。
- ② ドリンクホルダーを引っ張り、抜けないことを確認する。



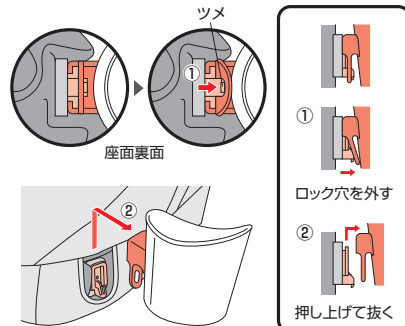
やむを得ず、助手席にチャイルドシートを取り付ける際、シフトレバーやサイドブレーキなど運転操作に支障をきたす場合は、ドリンクホルダーを取り付けない。



- ・ドリンクホルダーに熱い飲み物を入れない。火傷をするおそれがあります。
- ・お子さまがドリンクホルダーに体重をかけない。

〈ドリンクホルダーの取り外し〉

- ① 座面シート内側のドリンクホルダーのロック部を引く。
- ② ドリンクホルダーを上げて、取り外す。

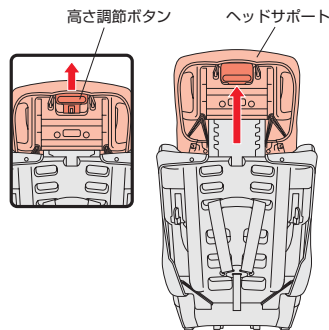


- ・ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は反対側に取り付けてください。
- ・ドリンクホルダーをご使用になる場合は、飲み物がこぼれないよう注意してください。

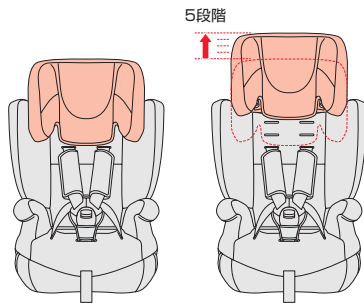
ヘッドサポートの高さ調節

〈ヘッドサポートの高さを調節する〉

- ①ヘッドサポート背面の高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートの高さを調節する。



- ②5段階の適切な位置にしっかりと固定されていることを確認する。



- 警告**
- ・頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
 - ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

- 注意**
- ・ヘッドサポートがロックされていることを確認してください。

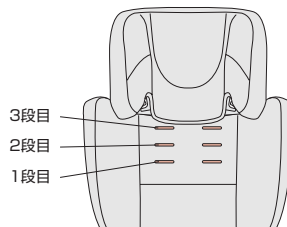


体重
9kgから
18kgまで

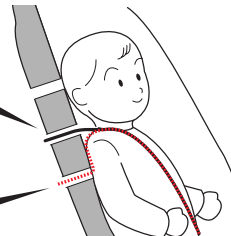
チャイルドシートモード／肩ハーネスの調節

〈肩ハーネス通し穴の位置〉

- ①3段階に調節できます。
(箱から取り出したときは1段目になっています。)



- ②お子さまの肩より高い位置の肩ハーネス通し穴を使用してください。



アドバイス

肩ハーネス通し穴は、お子さまの肩の少し上の高さになるようにしてください。



警告

・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

体 重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
9kgから 18kgまで	95cm位	3段目
	85cm位	2段目
	75cm位	1段目

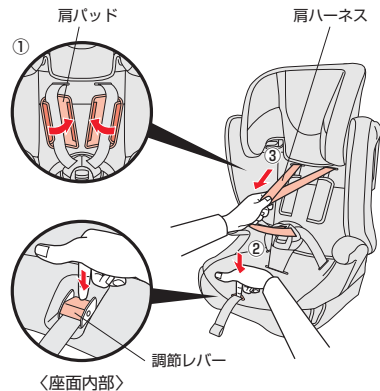


体重
9kgから
18kgまで

チャイルドシートモード／肩ハーネスの調節

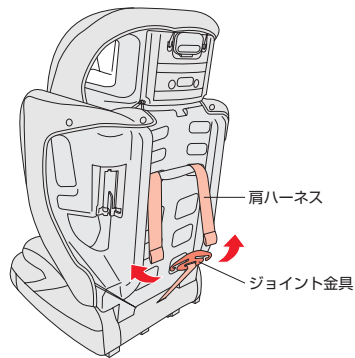
〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①肩パッドを開く。(左右)
- ②調節レバーを押す。
- ③調節レバーを押したまま、肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。

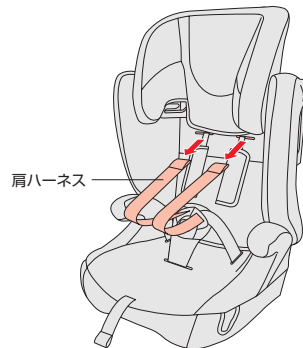


〈肩ハーネスを外す〉

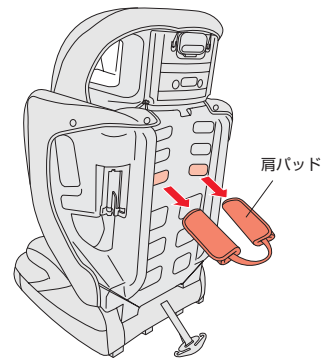
- ④肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。(左右)



- ⑤肩ハーネスをシート前側から引き抜く。(左右)



- ⑥肩パッドを背面側から引き抜く。(左右)

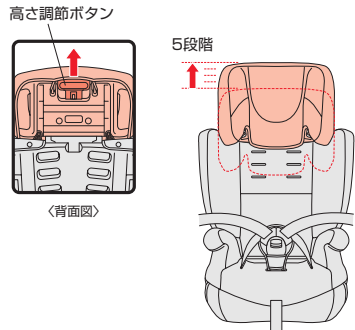




チャイルドシートモード／肩ハーネスの調節

〈ヘッドサポートの高さ調節〉

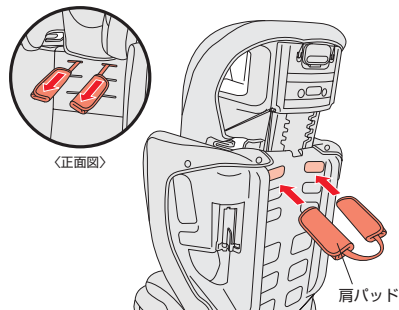
- ⑦調節ボタンを上げた状態で、使用する肩ハーネス通し穴が見えるまでヘッドサポートを引き上げる。



- 警告**
- ・頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
 - ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。
 - ・ヘッドサポートを上下にゆずりロックされていること。

〈肩パッドを差し込む〉

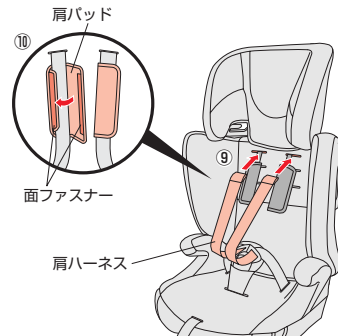
- ⑧使用する肩ハーネス通し穴に肩パッドを左右差し込む。



- 警告**
- ・肩パッドを裏表逆で使用しない。
 - ・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
 - ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈肩ハーネスを差し込む〉

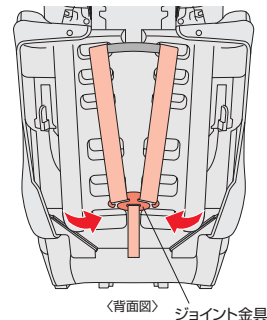
- ⑨肩ハーネスを差し込む。（左右）
⑩肩パッドを巻き付け、面ファスナーをとめる。（左右）



- 注意**
- ・肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。
 - ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈肩ハーネスをとめる〉

- ⑪肩ハーネスをジョイント金具にとめる。（左右）



- 注意**
- ・肩ハーネス、調節ベルトにねじれがないこと。

取り付け準備

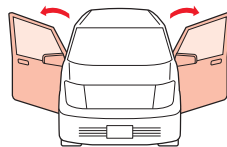
- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
- 本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P14を参照してください。



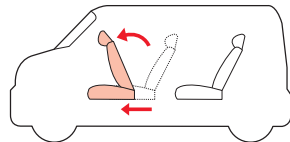
- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。

〈取り付け作業のスペース確保〉

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

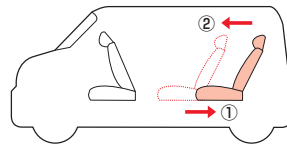


- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。

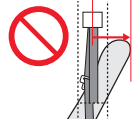


チャイルドシートモードで使用の際、取り付け座席にスライド機能がついている場合、取り付け後に座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

- ①チャイルドシートを取り付ける前に、取り付け座席を1番後ろにスライドさせる。
- ②取り付け後、取り付け座席を前にスライドさせる。



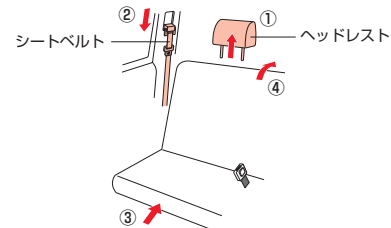
- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈取り付ける座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの肩の高さを下げる。
- ③車の座席を一番後ろに下げる。
- ④リクライニングを少し倒す。

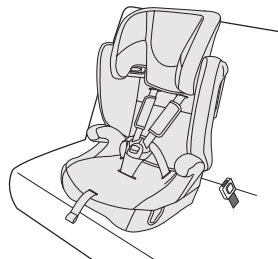




チャイルドシートモード／車への取り付けかた

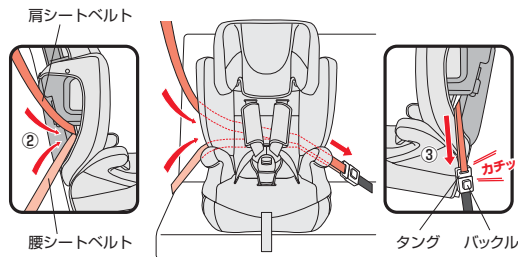
〈チャイルドシートをのせる〉

- ①チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置く。



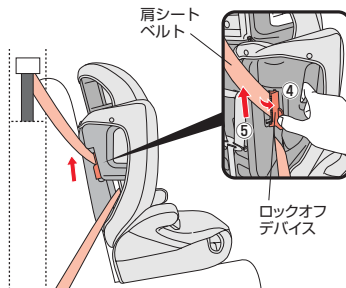
〈シートベルトをとめる〉

- ②シートベルトをシートベルトガイドに通し、タングをバックル側に引き出す。
- ③タングをバックルに差し込む。



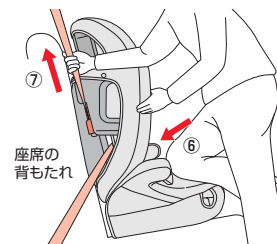
〈ロックオフデバイスに差し込む〉

- ④ロックオフデバイスを開き、
- ⑤肩シートベルトを差し込む。



〈シートベルトをしめつける〉

- ⑥座部を車の座席に押し付けながら、
- ⑦シートベルトを強く引き上げる。



- ・車のヘッドレストによって座席とチャイルドシートの間隙が出来ないようにする。
- ・チャイルドシートの前部が座席からはみ出ないこと。



- ・肩シートベルトにねじれ、たるみがないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

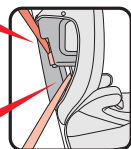


体重
9kgから
18kgまで

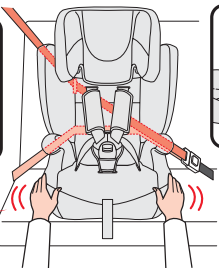
チャイルドシートモード／取り付け後の確認

- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

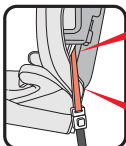
車のシートベルトをロックオフデバイスで固定している。



車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。



車のシートベルトがシートベルトガイドにかかっている。



車のシートベルトにゆりみ、たるみがない。(シワは問題ありません。)

座面部分を両手で持ち、前後左右に動かして座面部分が約3cm以上ずれない。



車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

- ・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P30～P32の手順で取り付け直してください。

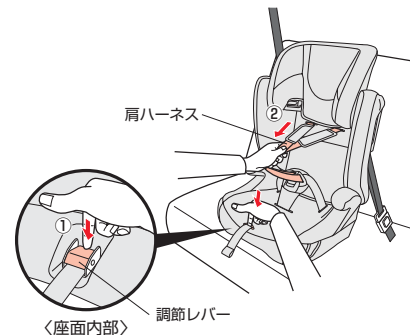


体重
9kgから
18kgまで

チャイルドシートモード／お子さまの乗せかた

〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま、肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。

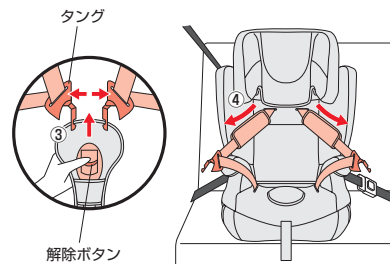


アドバイス

肩ハーネスだけを引っ張ってください。

〈タングを外す〉

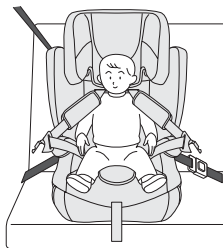
- ③バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ④肩ハーネスを左右に広げる。





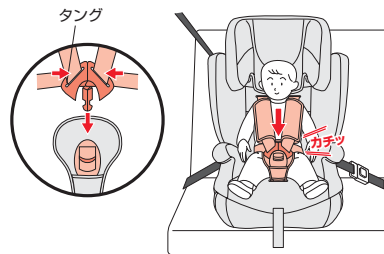
〈お子さまを乗せる〉

⑤お子さまを座面に深く座らせる。



〈タングを差し込む〉

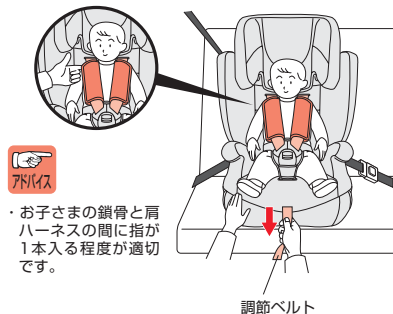
⑥左右のタングを組み合わせ「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈肩ハーネスを調節する〉

⑦調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
(ゆるめる場合は、P34を参照してください。)



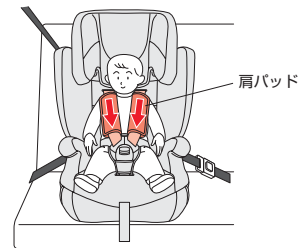
アドバイス
・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈肩パッドを調節する〉

⑧肩パッドをお子さまの胸あたりに調節する。



注意
・肩パッドが肩ベルト通し穴につまったりしないように注意してください。



体重
9kgから
18kgまで

チャイルドシートモード／使用時の確認



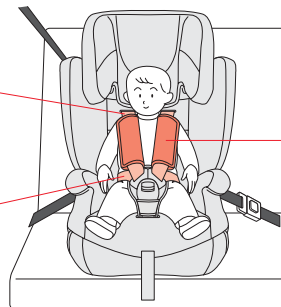
警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈お子さまの条件〉 体重9kgから18kgまで 参考年齢：12カ月頃から4歳頃 参考身長：75～105cm

肩ハーネスが肩より高い位置を通っていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。



肩パッドが胸の位置にあること。

- ・正しくできていない場合は、もう一度P34～P36の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きなゆるみがないこと。

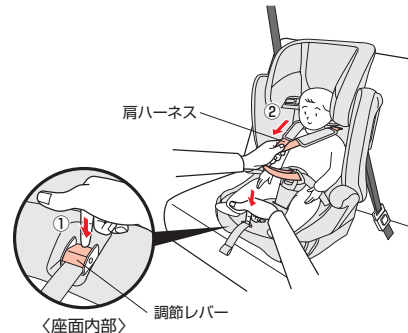


体重
9kgから
18kgまで

チャイルドシートモード／お子さまの降ろしかた

〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ① 調節レバーを押す。
- ② 調節レバーを押したまま、肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。

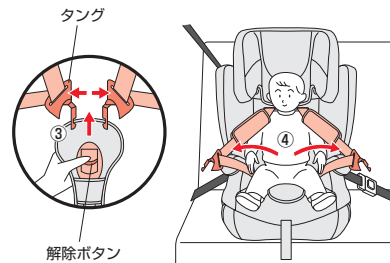


アドバイス

肩ハーネスだけを引っ張ってください。

〈タングを外す〉

- ③ バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ④ 肩ハーネスを左右に広げ、お子さまを降ろす。



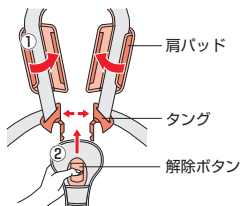


体重
15kgから
25kgまで

ジュニアシートモード／肩ハーネスの取り外しかた

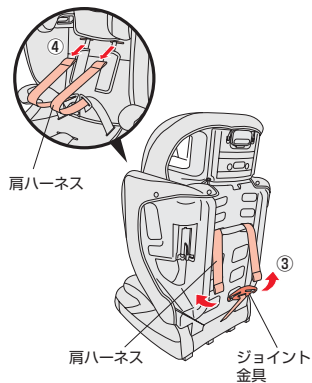
〈タングを外す〉

- ①肩パッドを開く。(左右)
- ②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。



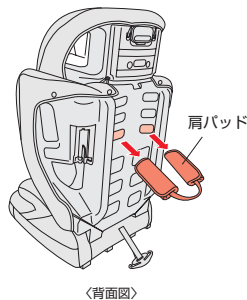
〈肩ハーネスを外す〉

- ③肩ハーネスをジョイント金具(左右)から取り外す。
- ④シート前側から引き抜く。(左右)



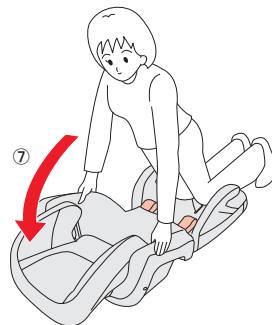
〈肩パッドを外す〉

- ⑤肩パッドを背面側から引き抜く。(左右)

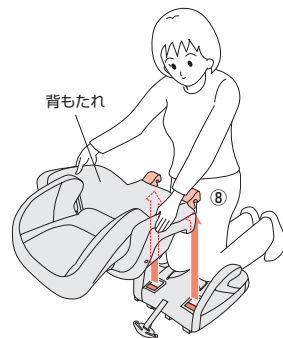


〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ⑥座面の中央部に両ひざを乗せて
- ⑦背もたれを倒す。



- ⑧背もたれを水平に持ち上げ、取り外す。



警告

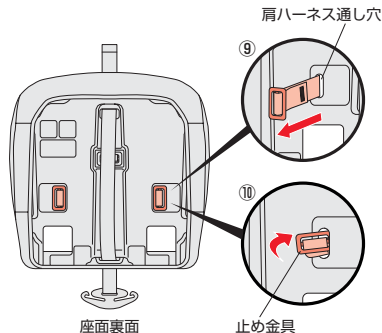
・取り外す時に、指などを挟まないよう注意してください。



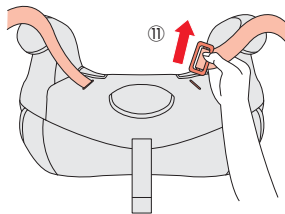
ジュニアシートモード／肩ハーネスの取り外しかた

〈肩ハーネスを取り外す〉

- ⑨ 座面裏面の肩ハーネス通し穴から止め金具を引き出す。
- ⑩ 止め金具をベルトに沿って押し上げる。



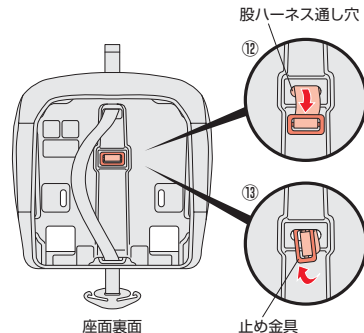
- ⑪ 座部の上部から肩ハーネスを抜き取る。(左右)



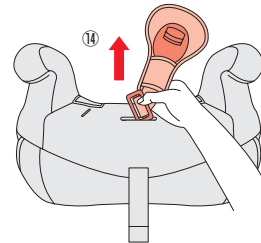
取り外した肩ハーネスは大切に保管してください。

〈股ハーネスを取り外す〉

- ⑫ 座面裏面の股ハーネス通し穴から止め金具を引き出す。
- ⑬ 止め金具をベルトに沿って押し上げる。



- ⑭ 座部の上部から股ハーネスを抜き取る。



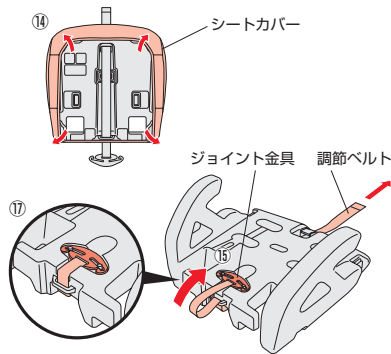
股ハーネスカバーを取り外すと操作がしやすくなります。取り外した股ハーネスと股ハーネスカバーは大切に保管してください。



ジュニアシートモード／肩ハーネスの取り外しかた

〈ジョイント金具を収納する〉

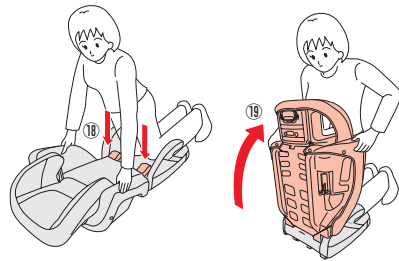
- ⑭シートカバーをめくる。(P59参照)
- ⑮ジョイント金具を収納する。
- ⑯シートカバーをかぶせる。
- ⑰調節ベルトを引き、たるみをなくす。



アドバイス あまった調節ベルトはシートカバーの中に収納してください。

〈背もたれを取り付ける〉

- ・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。
- ⑱背もたれを水平に寝かせ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- ⑲背もたれを起こす。
- ⑳背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。(P21参照)



アドバイス シートカバーを挟み込まないように注意してください。

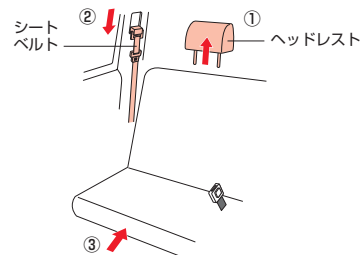
警告 ・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。
・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意してください。



ジュニアシートモード／車への取り付けかた

〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの高さを下げる。
- ③車の座席を一番後ろに下げる。

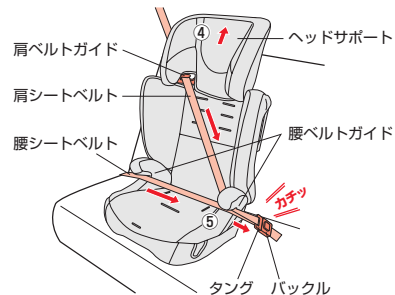


警告 ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈チャイルドシートをのせる〉

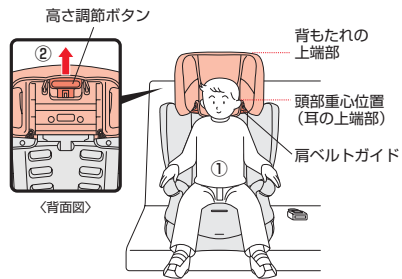
- ④高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを上げる。
- ⑤肩シートベルトを肩ベルトガイド、腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。



アドバイス お子さまを乗せない時も、常にこの状態にしてください。

〈ヘッドサポートの調節〉

- ① お子さまを座面に深く座らせる。
- ② 高さ調節ボタンを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節します。

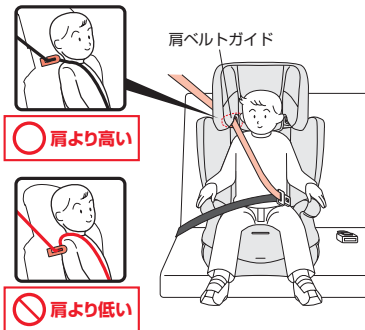


警告

- ・ 頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
- ・ ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

〈肩シートベルトを通す〉

- ③ 肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。

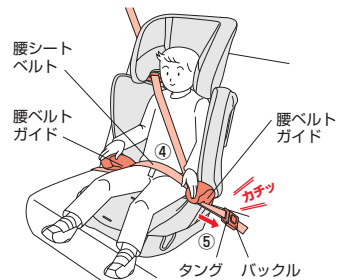


警告

- ・ 肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・ 肩ベルトガイドがお子さまの肩より高い位置にあること。
- ・ ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈腰シートベルトをとめる〉

- ④ 腰シートベルトを腰ベルトガイドに通す。（左右）
- ⑤ タングをバックルに差し込む。

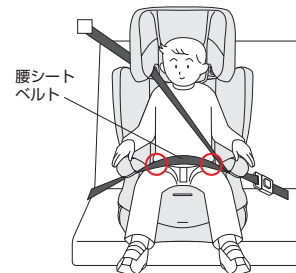


警告

- ・ 腰シートベルトにねじれがないこと。

〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑥ 腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。





体重
15kgから
25kgまで

ジュニアシートモード／使用時の確認



警告

- ・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈お子さまの条件〉 体重15kgから25kgまで 参考年齢：3歳頃から7歳頃 参考身長：95～120cm

肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



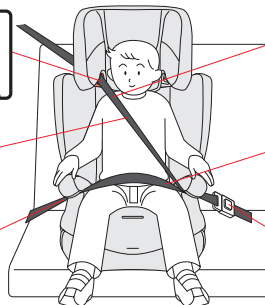
肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。

車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。



- ・正しくできていない場合は、もう一度P44～P46の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きなゆるみがないこと。

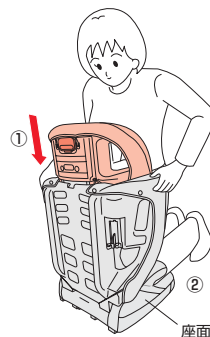


体重
22kgから
36kgまで

ブースターシートモード／背もたれの取り外しかた

〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ①高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを下げる。
- ②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ③背もたれを倒す。
- ④背もたれを水平に持ち上げ、取り外す。



警告

- ・取り外す時に、指などを挟まないよう注意してください。

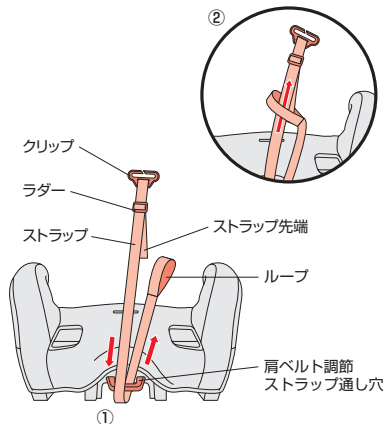


アドバイス

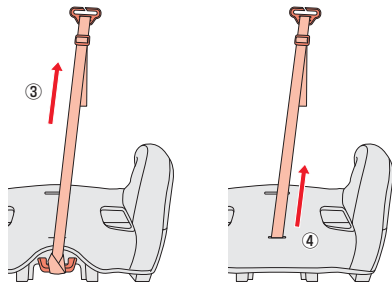
取り外した背もたれは大切に保管してください。

〈肩ベルト調節ストラップを取り付ける〉

- ①シートカバーをめくり、ストラップ先端を座面前側にして肩ベルト調節ストラップ通し穴に通す。
- ②クリップをループに通す。



- ③クリップを引き上げ、固定する。
- ④シートカバーをかぶせ、クリップを通し穴に通す。



アドバイス ストラップ先端は、座面前側にあること。

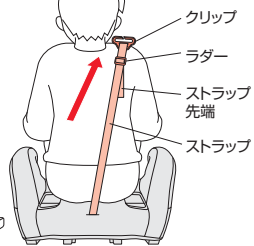
〈肩ベルト調節ストラップを調節する〉

- ⑤ラダーをゆるめ、ストラップの長さを調節し、クリップの位置をお子さまの肩にあわせる。

〈長くする場合〉



〈短くする場合〉



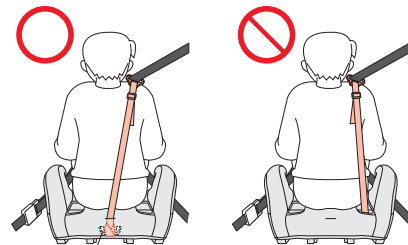
〈車の座席後側〉



アドバイス ストラップ先端が、お子さまの背中側にあること。

警告

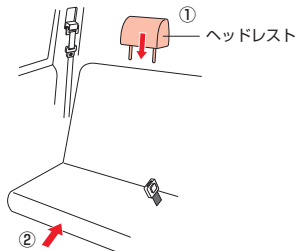
・肩ベルト調節ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴に取り付けていること。



肩ベルト調節ストラップ通し穴

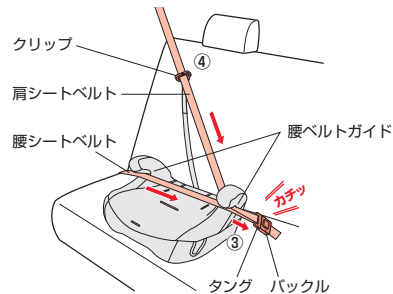
〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。
- ②車の座席を一番後ろに下げる。



〈チャイルドシートをのせる〉

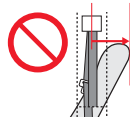
- ③肩シートベルト、腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。
- ④クリップを肩シートベルトに取り付ける。



アドバイス
お子さまを乗せない時も、常にこの状態にしてください。

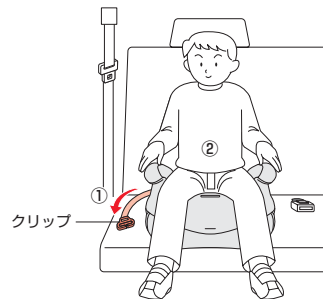


- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



〈お子さまを乗せる〉

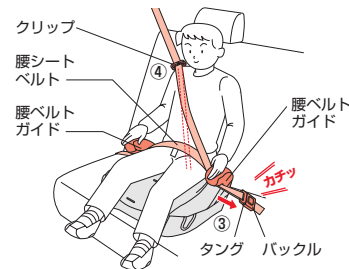
- ①チャイルドシートを車の座席に置き、クリップを横側に出す。
- ②お子さまを座面に深く座らせる。



警告
・チャイルドシートの前部が座席からはみ出ないこと。

〈肩シートベルトをとめる〉

- ③肩シートベルトと腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。タングをバックルに差し込む。
- ④クリップを肩シートベルトに取り付け、調節する。(P50参照)



- ・肩ベルト調節ストラップはお子さまの背面側にあること。
- ・肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

体重
22kgから
36kgまで

ブースターシートモード/使用時の確認



警告

- ・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

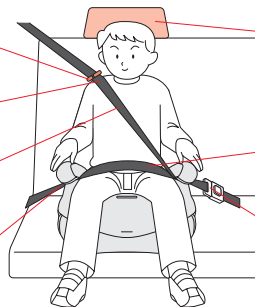
〈お子さまの条件〉 体重22kgから36kgまで 参考年齢：7歳頃から11歳頃 参考身長：120～145cm

肩ベルト調節ストラップは、お子さまの背面側にあること。

車のシートベルトがお子さまの肩にかかっていること。

車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。



車のヘッドレストを取り付けていること。(取り外せる場合)

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。

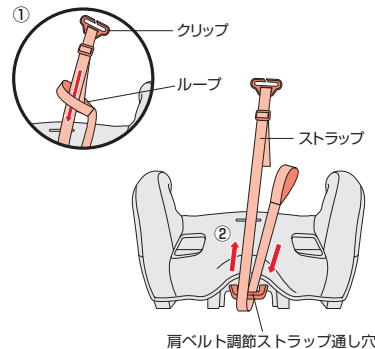
- ・正しくできていない場合は、もう一度P49～P52の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きなゆるみがないこと。

体重
9kgから
18kgまで

チャイルドシートモードへの戻しかた

〈肩ベルト調節ストラップを取り外す〉

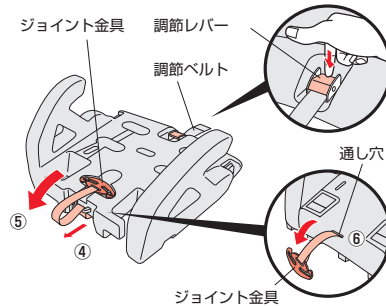
- ①シートカバーをめくり、クリップをループから抜く。
- ②ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴から抜き取る。



取り外した肩ベルト調節ストラップは大切に保管してください。

〈ジョイント金具を取り出す〉

- ③シートカバーをめくる。(P59参照)
- ④調節レバーを押し込み、ベルトをゆるめる。
- ⑤ジョイント金具を取り出す。
- ⑥シートカバーをかぶせ、ジョイント金具を通し穴に通す。



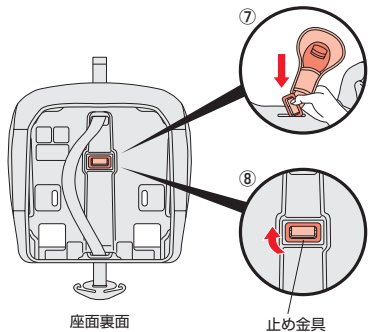
調節ベルトをシートカバーの中から出してください。



チャイルドシートモードへの戻しかた

〈股ハーネスを取り付ける〉

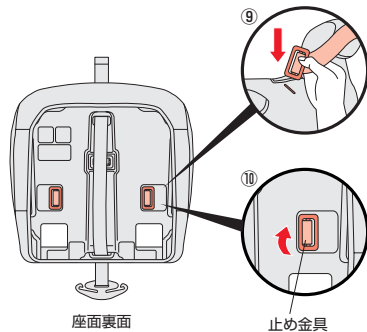
- ⑦座面の上部から股ハーネスの止め金具を股ハーネス通し穴に差し込む。
- ⑧座面裏面から止め金具で固定されていることを確認する。



アドバイス 股ハーネスカバーを取り外すと操作がしやすくなります。

〈肩ハーネスを取り付ける〉

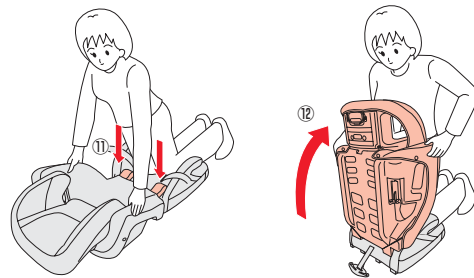
- ⑨座面の上部から肩ハーネスの止め金具を肩ハーネス通し穴に差し込む。(左右)
- ⑩座面裏面から止め金具で固定されていることを確認する。(左右)



アドバイス 肩ハーネスの折り返し部を外側にしてください。

〈背もたれを取り付ける〉・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ⑪背もたれを水平に寝かせ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- ⑫背もたれを起こす。
- ⑬背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。(P21参照)

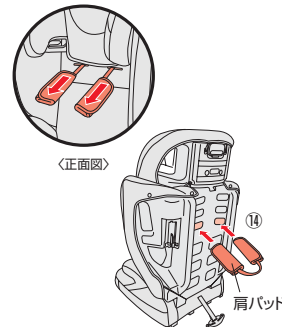


アドバイス シートカバーを挟み込まないように注意してください。

警告 ・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。
・組み立てたチャイルドシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意してください。

〈肩パッドを差し込む〉

- ⑭使用する肩ハーネス通し穴に肩パッドを左右差し込む。

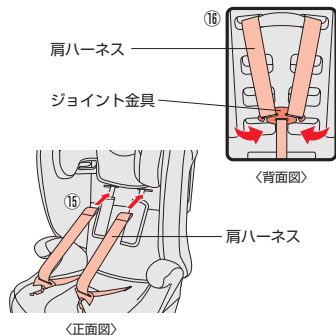


警告 ・肩パッドを裏表逆で使用しない。
・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

チャイルドシートモードへの戻しかた

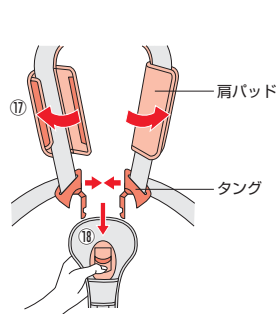
〈肩ハーネスを差し込む〉

- ⑮ 肩ハーネスを差し込む。(左右)
- ⑯ 肩ハーネスをジョイント金具にとめる。(左右)



〈肩パッドを取り付ける〉

- ⑰ 肩パッドを取り付ける。(左右)
- ⑱ タングを差し込む。(左右)



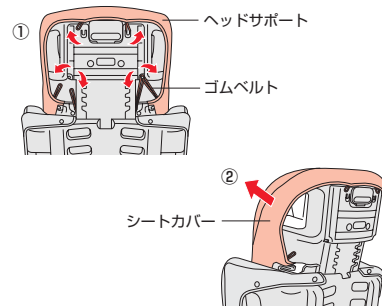
お手入れ/シートカバーの外しかた

〈準備〉

- ① ヘッドサポートを1番高く引き上げる。(P23参照)
- ② 肩パッドを取り外す。(P39参照)
- ③ 背もたれを取り外す。(P40参照)
- ④ 肩ハーネスを取り外す。(P41参照)

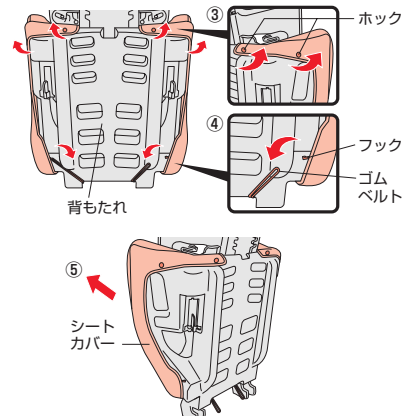
〈ヘッドサポート〉

- ① ヘッドサポートのゴムベルトを外す。(6カ所)
- ② シートカバーを取り外す。



〈背もたれ〉

- ③ 背もたれ上部のホックを外す。(4カ所)
- ④ 背もたれ下部のゴムベルトをフックから外す。(2カ所)
- ⑤ シートカバーを取り外す。



● 取り付ける場合は、逆の手順で行ってください。

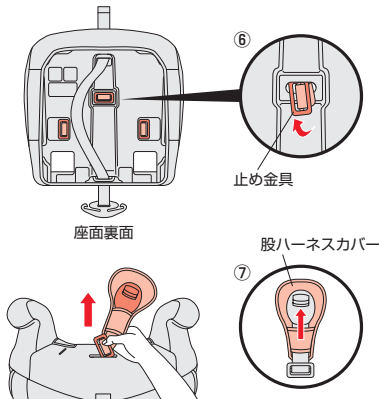


・ 肩ハーネス、調節ベルトにねじれがないこと。
・ 肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お手入れ／シートカバーの外しかた

〈肩ハーネス・股ハーネス・股ハーネスカバー〉

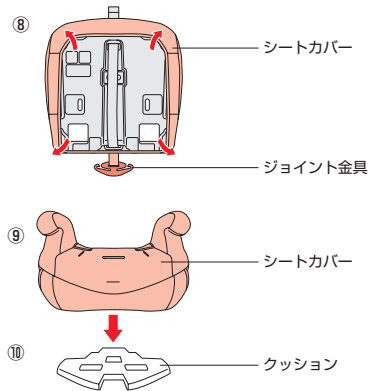
- ⑥肩ハーネスと股ハーネスを取り外す。(P41、42参照)
- ⑦股ハーネスカバーを取り外す。



股ハーネスカバーを取り外すと操作がしやすくなります。

〈座面〉

- ⑧シートカバーをめくる。
- ⑨ジョイント金具をシートから抜き取り、シートカバーを取り外す。
- ⑩シートカバー内側のクッションを取り外す。



●取り付ける場合は、逆の手順で行ってください。

お手入れ／保管・廃棄のしかた

〈シートカバーの洗濯〉



他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分・パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・可動部にゴミがつかまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って十分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



屋外に放置し、雨などにさらさない。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

〈製品仕様〉

商品重量	5.2kg
座面のみ	1.8kg
サイズ	W442 × D413 × H672~750 (mm)
座面のみ	W433 × D368 × H220 (mm)

材質	樹脂部	: ポリエチレン
	シートクッション	: ポリウレタン
	表生地	: ポリエステル

困ったときに <解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。>

<ご使用前に困ったとき>

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P64参照「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ「 http://www.Aprica.jp/ 」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。 P11参照「チャイルドシートを取り付ける座席について」
チャイルドシートをどのグループで使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになるグループを決定してください。P9参照「お子さまの条件」

<車への取り付けで困ったとき>

お気づきの点	対処方法
シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び本体表示の内容に従って正しく通してください。 P31参照「グループI」、P44参照「グループII」、P51参照「グループIII」
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。 P31参照「グループI」、P46参照「グループII」、P52参照「グループIII」 チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 P33参照「グループI」、P47参照「グループII」、P53参照「グループIII」
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	座面部分を両手で持ち、前後左右に動かして座面部分が約3cm以上ずれない。3cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 P19参照「日常の点検」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P64参照「アフターサービスについての連絡先」

<お子さまの乗せかたで困ったとき>

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 P36参照「チャイルドシートモード/お子さまの乗せかた」
肩シートベルトがお子さまの首に掛かる	肩ベルト調節ストラップのクリップの位置を調節してください。 P50参照「ブースターシートモード/肩ベルト調節ストラップの使いかた」
肩シートベルトがお子さまの肩から外れる	肩ベルト調節ストラップのクリップの位置を調節してください。 P50参照「ブースターシートモード/肩ベルト調節ストラップの使いかた」

<操作時に困ったとき>

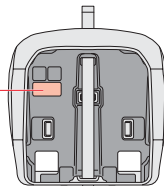
お気づきの点	対処方法
ドリンクホルダーの取り付け方がわからない	座面のドリンクホルダー取り付け部に取り付けてください。 P22参照「ドリンクホルダーの取り付け」
ヘッドサポートの高さ調節がわからない	ヘッドサポート背面の高さ調節ボタンを引き上げ、高さを調節してください。 P23参照「ヘッドサポートの高さ調節」
股ハーネスの取り外し方がわからない	座面裏面の股ハーネス通し穴に止め金具をベルトに沿って押し上げ、取り外してください。 P42参照「股ハーネスを取り外す」
肩ベルト調節ストラップの使い方がわからない	ブースターシートモードで使用します。 P49参照「ブースターシートモード/肩ベルト調節ストラップの使いかた」

〈保証期間とアフターサービス〉

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用中を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、座面裏面シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。

品名・品番・ロット番号シール



アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

MEMO
